

令和元年 11 月 6 日

現場説明の質問に対する回答書

入札参加者 様

環境創造局下水道設備課長

松本 信幸

工事名	金沢水再生センター汚泥処理第二受泥棟無停電電源設備工事				
調達公告日	10月23日	調達公告番号	第146号	契約番号	1921010456

現場説明に対する質問及び回答は次のとおりです。

質問要旨	回答
1 特記仕様書 P.3 仮設工事 既設の無停電電源設備の撤去時期は、令和2年度と考えておりますがご教示願います。	1 撤去時期を令和2年度として頂いても問題ありません。
2 特記仕様書 P.4 準備費 2項 延焼防止材のアスベスト含有分析で含有していた場合の処置は別途、協議と考えますがご教示願います。	2 分析の結果、アスベスト含有が判明した場合の撤去・処分は別途協議とします。
3 今年度出来高予定・70%以上と記載ありますが必須でしょうか。機器製作が2020年3月末までに完成(立ち合い検査含む)出来ない場合も想定されます。条件ありましたらご教示願います。	3 現場説明書に記載のとおりです。
4 現場代理人は機器製作期間と工事期間でわかる事は可能でしょうか。	4 工事請負契約約款に定めるとおりです。
5 設備切り替えに於いて、連続停電可能時間と関連条件をご教示願います。	5 稼働設備であるため、停電は極力短くする必要があります。詳細は契約後、協議の上決定とします。

<p>6 電源切り替え後の既設電源・負荷設備動作は横浜市様が対応・確認いただけるものと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>6 そのとおりです。</p>
<p>7 工事期間中は、現場事務所のスペースとして、電気室等のスペースをお借りすること可能でしょうか。</p>	<p>7 契約後、協議の上決定します。</p>
<p>8 今回撤去する機器及び工事の中でアスベストが含有している可能性のある機器などがありますでしょうか。又、アスベスト有無の事前調査は必要でしょうか。</p>	<p>8 アスベスト含有可能性のある箇所及びアスベスト含有分析の実施の必要性については、特記仕様書及び図面より判断とします。</p>
<p>9 搬出入開口寸法は支障なく確保されていると判断しますが、確認の為に搬出・搬入開口部寸法をご教示願います。</p>	<p>9 2階電気室への搬出・搬入口の開口部寸法は約 W2,500mm × H3,000mm です。</p>
<p>10 交流負荷の仮設容量及び直流負荷の仮設電流をご教示願います。</p>	<p>10 特記仕様書より判断とします。</p>
<p>11 無停電電源装置の仮設化、本設化に際し、負荷設備の停電が生じます。負荷設備の停電による影響の検討及び影響回避に伴う作業は、お客様にて御対応いただけるものと考えてよろしいでしょうか。</p> <p>また、設備切替時の設備養生、運転操作はお客様所掌と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>11 停電による影響回避及び養生に関する操作は横浜市で行いますが、停電による影響の検討及び切替計画の策定（計画策定に必要な調査等を含む）及び本工事に係る立会は請負人の範囲です。</p>

<p>12 設備停止にあたり、連続停電可能時間をご教示ください。また、停電可能時間について、曜日、時間等の制約がありましたら御教示ください。</p>	<p>12 稼働設備であるため、停電は極力短くする必要があります。詳細は契約後、協議の上決定とします。</p>
<p>13 電源切替後の負荷動作については横浜市様にて、御確認いただけるものと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>13 そのとおりです。</p>
<p>14 新設する無停電電源装置の信号項目は一般仕様書の通り、「UPS重故障」、「UPS軽故障」、「DC故障」の3点でよろしいでしょうか。 また、故障信号用制御ケーブルの接続先を御教示ください。</p>	<p>14 そのとおりです。故障信号用制御ケーブルの接続先は電力変換器 (J-CNB-201) です。</p>
<p>15 工事期間中は、現場事務所として電気室等の空いているスペースをお借りしてもよろしいでしょうか。</p>	<p>15 契約後、協議の上決定します。</p>
<p>16 工事用電源は建屋コンセントを使用させていただいてよろしいでしょうか。</p>	<p>16 契約後、協議の上決定します。</p>
<p>17 既設盤の改造や既設図面の修正は本工事範囲外と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>17 そのとおりです。</p>
<p>18 (特記仕様書 P 3 第7条1) 交流負荷の仮設について、仮設する容量と電圧を御教示ください。</p>	<p>18 特記仕様書より判断とします。</p>
<p>19 (特記仕様書 P 3 第7条2) 直流負荷の仮設について、仮設する電流と電圧を御教示ください。</p>	<p>19 特記仕様書より判断とします。</p>

<p>20 (図面 2/11、5/11) 「⑨ 電力変換器」のケーブル撤去、布設について接続先と線種及び本数を御教示ください。</p>	<p>20 図面2/11については、接続先は充電器盤(J-UPS-202A)及びインバータ盤(J-UPS-203A)であり、制御ケーブルの故障出力点数は回答14のとおりです。</p> <p>図面5/11については、接続先は入出力(J-UPS-201)、インバータ(J-UPS-201)、整流器(J-UPS-201)、充電器(J-BT-201)であり、既設の制御ケーブルの故障出力点数は4点です。</p>
<p>21 (図面 2/11、5/11、11/11) 動力主幹〈J-LC-201〉のケーブルを再利用撤去、布設することになっていますが、仮設無停電電源装置(直流)用のフィーダを空けるために実施するという認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>21 そのとおりです。</p>
<p>22 (図面 3/11) 第一～第二受泥棟間のケーブルラックまでの高さを御教示ください。</p>	<p>22 GL からケーブルラックまでの高さは約4,800mmです。</p>
<p>23 (図面 3/11・4/11) アスベスト分析(延焼防止材)と記載がありますが、撤去・処分は別途工事という認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>23 アスベスト含有分析は本工事範囲です。分析の結果、含有が判明した場合の撤去・処分は別途協議とします。</p>
<p>24 (図面 5/11) 2階電気室への搬入・搬出について、搬入口の寸法をご教示ください。</p> <p>また、寸法以外の搬出入時の制約がございましたら、御教示ください。</p>	<p>24 約 W2,500mm×H3,000mm です。その他の制約はありません。</p>

<p>25 (図面 11/11) 仮設無停電電源装置の電源を既設盤から取ることとなっていますが、既設盤には予備フィーダがあり、既設盤改造は発生しないと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>25 仮設無停電電源装置(交流)の電源は、既設盤の予備フィーダから取ります。仮設無停電電源装置(直流)の電源は、回答 21 の方法で取ります。</p>
<p>26 (図面 11/11) 負荷名称「MPL-Z 非常灯」は消防負荷という認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>26 そのとおりです。</p>